

【荒尾第三中学校の基本理念】荒尾第三中学校に集うすべての人々の幸せを追求する



令和8年度 荒尾市立荒尾第三中学校 教育目標

幸せをつかむ

～仲間とつながる、未来とつながる、地域とつながる～



<めざす生徒像>

- 周りの思いや自分の未来を見据えて、自ら動く生徒
- 失敗を恐れずに挑戦し、あきらめずにやり抜く生徒
- 自他の良さに気づき、自ら心を開いて居場所を見つける生徒
- 相手や物事の背景を考え、正しい判断ができる生徒
- 相手の思いを受け止め、根拠をもとに自分の思いを表現できる生徒

<新学習指導要領改訂の方向性>

何ができるようになるか

学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

思考力・判断力・表現力の育成

カリキュラム・マネジメントの実現

何を学ぶか

育む資質・能力の明確化

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び

生きる力

「熊本の学び」の推進

- 「進化型あらおベーシック」を基盤にした三中授業スタイルの確実な授業実践
- 実態に応じたきめ細かな個別指導の工夫と実践
- 学習規律の徹底（挨拶、返事、授業前着席、聴く姿勢）
- タブレット等、ICT機器の効果的な活用
- 学力向上関係事業の積極的な活用
- 家庭と連携し、授業と繋がる家庭学習の工夫と習慣化
- 日本語・英語教育の充実（言語活動、読書活動、国際交流）

<めざす学校像>

- すべての人に心の居場所のある学校
- 自立への力を高めようとする活気ある学校
- 温かい言葉が飛び交う学校
- 信頼される学校
- 主体的、対話的で深い学びが実践される学校

<めざす教職員像>

- 情熱と愛情をもち、様々な仕掛けを行い、最後までやりきらせる指導を実践する教職員
- 豊かな人権感覚をもち、温かく公平に接する教職員
- 生徒の姿で教育を語る教職員
- 三中に集うすべての人の幸せを追求する教職員
- 職員五訓を実践する教職員

重点的に育成を目指す資質・能力

周囲とつながる力

人権感覚を身に付け考動する力

コミュニケーション能力（傾聴力・対話力・発信力）

想像する力

踏ん張る力

心の居場所づくりの推進

個に応じた指導の積極的推進

～一人にこだわってチームで対応～

- 小岱教室・ハートフルルーム・保健室・相談室等、教職員同士及び家庭と連携した「心の居場所」づくりの推進
- 拡大不登校対策委員会の実施（関係機関との連携）
- 校内支援委員会の充実

キャリア教育の推進

- 基礎的・汎用的能力（4つの資質・能力）の視点で身につけさせたい力を意識した取組の推進
- キャリアパスポートの活用の充実
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進による地域人材の活用
- 生徒会を中心とした地域貢献活動の推進
- 「三中タイム」による生徒主体の活動実践

人権教育の充実

～すべての教育活動を通じて、人権意識を高め、部落差別をはじめとするあらゆる差別を許さず行動する生徒の育成～